

行政評価（外部評価）結果総括表

＜平成21年度実施計画分＞

平成22年6月

行政評価（外部評価）結果総括表（平成21年度実施計画）

第1節 産業を創造しゆたかで元気なまちをつくる

第1項 川西ブランドの創造

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
産学公による調査、研究機関の創設と川西ブランドの創造	概ね順調	政策達成に向け進捗度を高める必要がある。特に地域資源を活用した食産業の関係機関との連携体制整備が必要である。	（仮）川西ブランド研究所の創設	75.0	町民ニーズの一層の反映を図り生産者、事業者間の連携を通し、地域資源を活用した食産業への展開が必要である。	
			資源、情報の活用と発信	75.0	関係機関との連携を強化し、地域資源や町内情報の受発信領域を広げて、川西町ファンの拡大を期待する。	
			産業間のネットワークの構築	75.0	地域資源を有効利用するため農商工連携とともに、町外関係機関・団体等との連携体制の確立が必要である。また、川西ブランド確立事業で始まった集団の支援も必要である。	
			地場産品の開発と流通の促進	75.0	地場産品の紅大豆料理や川西食のさらなる商品開発、販売促進のための連携体制整備が必要である。	
新たな産業づくりの促進	概ね順調	新たな産業づくりのため、政策実現に向け施策の関連・整備が必要であるとともに具体的プログラムによる事務事業を進めてほしい。	コミュニティビジネスの創造	68.8	施策に対応する事務事業の整理が必要であり、ビジネス化への道筋も体系化すべきであるし、地域資源を有効利用した教育旅行受入れ体制整備も急務の課題である。	
			新エネルギー利活用の調査、研究	75.0	新エネルギー利活用の第一段階としての公共施設に係る雪エネルギー活用は評価できるが、一般家庭への普及策等今後の取組の方向、目的の検討が必要である。	
			起業の育成、支援	56.3	新分野進出や新商品開発に意欲的に取り組む事業者に、金融対策のみならず新たな支援事業を展開するとともに制度活用できるよう広範に周知する必要がある。	

第2項 持続し発展する農業の振興

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
多様な担い手の育成	概ね順調	農業の担い手に対する支援策として明確に反映してほしい。	新たな担い手の育成、支援	81.3	新規就農者の参入や定着化が図れるように更なる支援策を講じるとともに、農業実態の把握とPR活動が必要である。	
			経営形態に合せた担い手の育成	81.3	各分野の担い手に対応する具体的支援策を明確にする必要がある。	
			支援体制の充実	75.0	農業者の経営安定のための各種制度資金の継続が必要である。	
産学公連携による支援拠点づくりの促進	概ね順調	政策を支える体制づくり（施策）の強化が必要である。	置賜農業高等学校との連携強化と機能充実の促進	75.0	置賜農業高等学校は農業後継者の育成の拠点として、若者の定着化や技術指導・開発のための連携目的を明確にするとともに具体的取組事業を推進する必要がある。	
地域営農システムの確立	概ね順調	政策推進を図るため、今後一層の取組を期待する。	地域営農組織の育成、法人化の推進	81.3	具体的取り組みの一層の進展を望む。	
			農地の集積化	93.8	農地の集積化は、法人化の推進とともに同時進行すべきである。	
競争力の高い水田農業の確立	概ね順調	川西の水田農業の生き残りをかけて、川西米のブランド化の推進、強化が必要であり、お互い連携を取りながら今後一層の進展を期待する。	環境保全型農業の推進	81.3	環境保全型農業の活動を支援し、エコファーマーの育成を推進する必要がある。	
			付加価値の高い売れる米作りの推進	75.0	消費動向を把握し、販売促進に努力してほしい。	
高収益型周年農業の推進	概ね順調	産地化、ブランド化を一層進めるために、さらなる施策展開が望まれる。	戦略的作物による産地づくりの推進	81.3	消費者ニーズを把握し、川西町園芸振興協議会支援を通して新規作物の導入推進を図る必要がある。	
			畜産の振興	81.3	米沢牛のPR推進と販売強化のための事業展開を図る必要がある。	
			林産物の振興	81.3	町内産木材を利用して経済活性化を図り、木材需要促進を支援する。	
信頼をつくる生産流通体制の確立	概ね順調	食の安全確立のみでは不十分であり、生産流通体制の確立について施策構成の見直しが必要である。	食の安全の確立	81.3	食の新商品開発で生産、加工、販売の各段階の中に安全安心の視点を入れつつ連携するとともに、食農教育の大切さを併せて推進する必要がある。	
食生活、食文化を通じた豊かな生活の推進	概ね順調	多様な機会において食農教育を充実するとともに、食育の大切さを推進していく必要がある。	食農教育の推進	81.3	食と農による健康づくり学習、栄養教育、地産地消、農業体験等をより充実させる必要がある。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
農村環境、生産基盤の整備と保全	概ね順調	計画的な農村環境の維持管理を今後一層進展、発展が望まれる。	生産基盤の整備	81.3	今後とも国県と連携を図りながら推進すべき。	
			主体的な維持管理活動の推進	93.8	今後とも継続的に推進すべき。	
森林の保全と緑化の推進	概ね順調	森林活用の具体的プログラムにより、更なる一層の進展を図る必要がある。	森林保全、緑化推進	81.3	森林災害、ナラ枯れ松くい虫の予防や防除、町有林の造林管理、森林整備により住民の安全と健康の推進必要。	

第3項 賑わいのある商業の振興

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
人材育成と組織づくり支援	概ね順調	経営後継者の育成・組織づくりともに実現に向けた具体的取組の見直しが必要。	後継者、人材の育成支援	75.0	従来からの「商工優良従業員表彰」だけでは不十分であり、事務事業の検討が必要である。	
			組織づくり支援	75.0	事務事業の体系を明確にして組織づくり支援をするとともに、組織化された「こまつ市」へのバックアップも継続強化すべきである。	
商業経営への指導支援	概ね順調	目的は理解出来るが、必要としている支援なのか検証し、現状の事務事業に満足せず、新たな事務事業の展開を期待する。	経営指導の強化	75.0	行政と商工会の連携強化により、新たな事務事業の構築及び展開を期待する。	
中心市街地の賑わい作り支援	概ね順調	中心市街地の賑わいづくりは今後も関係組織、地域住民との話し合いを継続して検討していく必要があり、支援事業についても単体として終わるのではなく、更なる波及効果をもたらす工夫がまだ必要。	魅力ある店舗づくり支援	68.8	TMO構想推進事業のこまつ市や美しい街づくりの取組継続必要。	・小さな街だから気軽に行動できるアイテム・レンタサイクル等の話は出ても実現していない。各ショップもおもしろいものがない。休むスペースもない。
			きれいな街づくり支援	75.0	関係組織、団体、商業者、地区住民が話し合いを深め、きれいな街の統一されたイメージを共有できる人づくりが大切であり、このことがきれいな街づくりの第一歩であると考えるので、支援の在り方を再検討すべきである。	
地場産品の活用	概ね順調	今後ますます生産・加工・販売各業者の連携強化及びPRが必要である。	商品開発への支援	75.0	米沢牛と紅大豆を利用した新商品が開発されたので、今後は生産加工販売業者の更なる連携と積極的PRが必要である。	
			地場産品の販路拡大	81.3	生産者、加工者、行政3者連携のもとに独自の販路拡大をすべき。	

第4項 ものづくりを育む工業の振興

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
企業誘致の推進	課題あり	施策を支える事務事業の数、量とも不足。企業誘致に向けた取組の進捗が不明。町の考え方を具体的に施策として明示する必要がある。	誘致促進に向けた環境づくり	62.5	雇用の場の確保、所得向上、若者定着化に企業誘致は奨励すべきだが、現下の経済不況にあっては企業誘致促進は大変であり再構築を必要とするが用地確保についても検討が必要である。	
			融資、奨励金等の支援	75.0	経営、雇用安定のため融資等は継続しつつ更なる支援策も必要である。	
企業の経営安定支援	課題あり	政策推進のためにも具体的施策や内容の更なる検討が必要である。	企業間の交流促進	75.0	町内企業間の交流に関しては、川西市労働福祉協議会と連携しながら実効が上がる具体的手法を再検討すべきである。	
			各種制度を活用した経営支援	81.3	景気低迷が続く状況にあり、経営や雇用安定のため融資制度の内容について検討し実効性を高める必要がある。	
起業支援	課題あり	施策が不十分であり検討の必要性とともに事務事業の構築が必要である。また、施策の「多様な就労活動への支援」は、「雇用対策活動支援」の施策へ移行すべきである。	起業、開発支援	81.3	従来からの「金融対策事業」だけでなく実効性の上がる新たな事務事業を構築する必要がある。	
			多様な就労活動への支援	75.0	高齢者の就業確保を支援する必要がある。	
雇用対策活動支援	課題あり	施策構成及び事務事業の見直し検討が必要である。	雇用活動に対する相談支援	75.0	景気低迷が続く雇用情勢も厳しいが、関係機関と連携し雇用拡大の取り組みが必要である。	
			勤労者の福祉向上支援	81.3	高齢者の就業確保を支援する必要がある。	

第5項 資源活かした観光の振興

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
ダリヤの高付加価値化とブランド力の向上	概ね順調	政策を推進するためにダリヤ栽培、普及等の一層の発展的取組を希望する。	ダリヤ栽培管理体制の充実	87.5	川西市のシンボルであるダリヤを適正に栽培管理し、ダリヤの更なる普及と観光振興とを連動させる必要がある。	
			ダリヤの普及促進	81.3	ダリヤ普及のため栽培技術の向上を図るとともに優良球根の確保に取り組み、園芸講座の開催継続や花づくり銀行との連携が必要である。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
			ダリヤの産業化の促進	81.3	生産者と研究機関との連携強化により品質向上を図りつつ、関係機関、団体と連携し販売方法等を検討する必要がある。	
地域資源の活用と交流の促進	概ね順調	地域資源を生かした交流の施策内容を検討し事務事業を具体化していく必要がある。	ふれあいの丘の充実	75.0	ダリヤ園を中心としたふれあいの丘の機能を明確にし具体的事務事業の推進必要。	・里山の利活用に本気でデコ入れし、イベント継続のためボランティアへのバックアップが必要である。
			地域資源のネットワーク化と活用	75.0	観光資源のダリヤ名花展、花ウォーク、黒べこまつり等イベント開催で更なる観光誘客を図るとともに、他の町内観光資源とネットワーク化し全町の取り組みを目指すことと積極的PRが必要である。	
			グリーンツーリズムの推進	68.8	交流し滞在を推進するための、受入体制整備（マンパワー・施設整備や活動メニュー・豊富な情報の受発信）が必要であり、具体的行動の積み重ねが必要である。	
観光PR活動及び推進体制の充実	概ね順調	更なる推進を期待する。	広域観光の推進	81.3	内容整理し、地域一体となった取組連携必要。 置賜花回廊やダリヤ園等の四季の観光イベント開催の推進。地域資源活用の取組強化。 地域資源を活用する企画立案と取り組みが必要。	
			情報発信、イベントの充実	75.0	一層の事業強化とインターネット活用によるPR必要。 新聞雑誌の広告、テレビラジオで更なる情報発信が必要。 マスメディア等の活用による積極的情報発信が必要。	
			推進体制の充実	68.8	ボランティアやふるさと交流大使の活用等で推進体制の構築が必要。 観光協会、ボランティアやふるさと交流大使等の活用充実が必要。 推進体制の充実には、やる気のある若者が必要。 観光資源の魅力アップに向けた推進体制整備必要。	

第2節 みんなで支えあい安心して暮らせるまちをつくる

第1項 子育て環境の充実

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
施設環境の充実	概ね順調	住民のニーズを十分に把握し、今後効率的且つ継続的な取り組みが必要である。	施設の整備と効率的な運営	81.3	少子化となっている現状で施設の再編は必要と考えられるため、幼児施設再編計画に基づき、施設運営及びサービスの充実策を十分に講じられたい。	
			保育サービスの充実	81.3	利用者ニーズを分析・把握し、利用しやすい柔軟なサービスの提供を図られたい。	・保育サービスとりわけ預かり保育について地域格差が出ないようサービスを充実されたい。
子育て支援センター機能の充実	概ね順調	利用者の利便性を最重要課題とし、今後とも継続的に取り組む必要がある。	相談体制、情報提供の充実	81.3	相談体制のネットワーク化を充実されたい。	
			交流と遊びの場の提供	81.3	情報発信・PRを拡大し、機能強化に向けた取組みを工夫されたい。	・子育てを頑張っている方々の憩いの場、時間の確保してほしい。 ・運営方法等を地域の自主性・判断にまかせてみて良いのではないかと。 地域間交流の充実が望まれる。
			地域子育て団体等との連携	75.0	育児サークルと支援センターの機能強化により支援の充実を図られたい。	
地域子育ての充実	概ね順調	地域格差が生じないよう、利用者ニーズを反映し、それぞれの地域の実情に合ったサービスを提供されたい。	子育てサークル、託児ボランティアの育成	81.3	施策の有効性を担保するため、事務事業の一層の強化を図られたい。	
			ふれあいの場、遊びの場の空間づくり	81.3	地域のニーズの把握をしっかり行い、地域実情に合ったサービスを提供されたい。	・小松小では、昨年地域の方と遊ぶ機会の設定があった（ハートフルタイム）。他小学校ではどうか？ 町内の小学校全体に均等な機会を与えて欲しい。
			放課後児童の健全育成	81.3	地域のニーズの把握をしっかり行い、地域実情に合ったサービスを提供されたい。	必要性があるので支援が不可欠と思われる。

第2項 元気づくりの推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
元気づくり活動の充実	概ね順調	関連する事業との連携、団体育成等課題が多く、町民ニーズに対応した施策・事務事業の精査、再構築を要すると考えられる。	健康体力づくりの推進	75.0	施策に対する事務事業の整理が不十分であり、総合的な再構築が必要である。	・食改や体力づくり等の事業が生かされていない。他事業と関連させ、効果的に展開されたい。
			元気づくり団体の育成支援	81.3	施策に対する事務事業の整理が不十分であり、総合的な再構築が必要である。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
健康づくりの推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、施策・事務事業を精査しより効率的、継続的な事業展開を図られたい。	指導、相談体制の充実	87.5	健康受診率の向上とフォローアップの充実を図るとともに健康管理システムを整理されたい。	
			保健事業の推進	87.5	受診率を向上させるための創意工夫が必要であり、対象者のニーズを把握するとともに、フォローの充実を図られたい。	
生活習慣病予防と感染症予防の推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、受診率の向上、指導の充実等、今後とも継続的な取り組みと効率的な運用を図られたい。	生活習慣病予防の推進	87.5	受診率を向上させるための創意工夫が必要である。事務事業の一層の充実を強化を図られたい。	
			感染症予防の推進	81.3	施策に対する事務事業の一層の強化を図りたい。	

第3項 健康・医療・福祉・介護の連携

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
健康、医療、福祉、介護の連携強化とサービスの向上	課題あり	健康福祉センターは、十分に機能しているとは考えにくく、また地域包括支援センターは、住民利用者のニーズを十分に調査し、施策の再構築を必要とする。政策推進を図るうえで、施策、事務事業とも全般的な見直しが必要である。	健康福祉センター機能の充実、整備	62.5	施策自体の再構築も含めた検討が必要である。	・川西診療所とは別途にセンター建設を進めるべきである。 ・理想的なセンター建設に向けての取り組みを強化すべきである。

第4項 介護予防と支援体制の充実

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域包括支援体制の構築	概ね順調	政策推進を図るうえで、施策の構成を精査し今後とも継続的な取り組みが求められる。	地域包括支援センターの創設	81.3	施策方向を明確化し、具体的事務事業を設定されたい。	
			介護予防の推進	87.5	事務事業展開を充実させ、要介護者の減少や抑制につながる取り組みを推進されたい。	
			継続的な介護支援	93.8	関係機関との連携によるケア体制の構築を図られたい。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
介護保険制度の適正な運用	概ね順調	生活安全条例に基づく継続的な取り組みが求められる。	在宅介護サービスの充実	87.5	介護保険事業計画に基づき、事務事業の検証、再構築されたい。	
			施設介護サービスへの支援	93.8	介護保険事業計画に基づき、事務事業の検証、再構築されたい。	
			家族介護者への支援	87.5	介護保険事業計画に基づき、事務事業の検証、再構築されたい。	

第5項 地域医療の推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域医療環境の充実	概ね順調	政策推進を図るうえで、川西診療所の存続を含む将来的なプランを明確化する必要がある。	公立置賜総合病院との連携強化	93.8	施策に対する事務事業の一層の強化されたい。	
			川西診療所の機能充実	75.0	診療所としての役割、位置づけを明確にし、一次医療機関としての機能と医師体制の整備に向けた取組みを展開されたい。	
			町内医療機関との連携	93.8	事務事業の一層の強化と工夫されたい。	
			医療給付の適正な運用	93.8	適正な制度運用を図られたい。	

第6項 高齢者の社会参加の促進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
高齢者が活躍できる場の創出	概ね順調	施策の内容として、既存事業（高齢者大学、老人クラブ活動、シルバー人材センター等）の見直し、再構築によって、政策目的に合致した実施内容とすることが必要である。	同世代、他世代間との交流の場の創設	75.0	事業内容が毎年同様であるため、ニーズを反映した事業の展開を講じられたい。	・参加者の固定化や交通手段の確保、新メニューの構築などの課題解決に取り組まれたい。
			学習機会の提供	75.0	施策に対する事務事業の再構築を図られたい。	・参加者の固定化や交通手段の確保、新メニューの構築などの課題解決に取り組まれたい。
			主体的活動への支援	81.3	参加状況の検証、ニーズの把握を行い、活動支援対策の手法を検討されたい。	
			就労機会の拡大	81.3	施策につながる事業の調査研究を図られたい。	

第7項 ノーマライゼーションの推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
福祉相談機能の充実	概ね順調	生活安全条例に基づく継続的な取り組みが求められる。	福祉相談窓口の充実	87.5	民生児童委員の資質確保のため、学習会を充実させる等の支援策を講じられたい。	・学校・団体・地域と情報交流の場を設ける。 ・情報収集の方法が不十分であると思う。
			いじめ、虐待防止ネットワークの整備	75.0	施策に対する事務事業の設定が不十分である。関係機関、地域連携の強化を図られたい。	
地域社会福祉の充実	概ね順調	政策推進を図るうえで、今後とも継続的な取り組みが求められる。また、父子家庭施策について、国の動向を注視しながら支援策を講じられたい。	生活保護、母子家庭等支援	93.8	施策実現に向けた取組みと父子家庭に対する支援策の検討を図られたい。	
			福祉関係団体との連携強化	93.8	施策実現に向け、更なる事業内容の精査、継続的な支援を図られたい。	
			地域支援体制の充実	93.8	地域全体で支える仕組みが必要であり、NPOやボランティア団体等との連携を図られたい。	
障がい者の生活支援サービスの充実	概ね順調	障がい者への住民理解の高揚のためこれまでの施策・事務事業に早急に検討を加え有効性を担保する事業展開を図る必要がある。	障がい者への住民理解の高揚	75.0	施策に対する具体的な事業展開がまったく不足している。共に活動、交流できる機会の設定を検討されたい。	・障がい者とのふれ合いがまだまだ必要である。
			在宅生活支援の推進	81.3	サービスの適正化、有効性を検証し、着実な事務事業の推進を図られたい。	
自立支援、社会参加の促進及びバリアフリー化の推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、バリアフリー化、支援の継続などさらなる事業展開が必要である。今後とも継続的な取り組みが求められる。	自立支援、社会参加の促進	87.5	バリアフリー化の推進に向けた事務事業の設定が必要である。	

第8項 危機管理体制の確立

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
危機管理に対する意識の向上	課題あり	早急に具体的且つ有効的な事業展開に取り組むべきである。	危機事態の情報収集及び調査、研究	75.0	地域防災計画をもとに具体的な行動マニュアルの作成が必要である。	
			危機事態に対する町民への意識啓発	75.0	地域防災計画をもとに具体的な行動マニュアルの作成が必要である。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
災害予測対策の推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、各施策の実効性を再検証するとともに継続的な取り組みが求められる。	情報受発信体制の強化	81.3	情報の受発信、双方向対応が可能なネットワークの研究を進められたい。	・実際に対応出来るシステムかどうか、点検・確認が必要である。
			教育、訓練の充実	75.0	防災訓練の内容を充実し、災害に対する町民の意識向上に努められたい。	・実際の動きが出来るか把握し、更なる充実を図るべき。
			災害予測調査の推進	81.3	今後とも事務事業を推進し、支援体制の確立を図られたい。	
			機器、資材等の整備、危険個所の解消	81.3	危険箇所の解消に向けた取り組みの強化を図られたい。	・必要な資材・食料など、すぐに持ち出し使える場所に保管し、対応出来るように配置願いたい。
危機管理体制の整備	概ね順調	新たな総合防災計画の策定が政策の実効性確保に欠くことの出来ない喫緊の課題と考えられる。	自主防災組織の育成	81.3	各地区の自主防災組織の強化策を講じるとともに、細分化体制についても育成支援を図られたい。	・具体的な内容を明確にし、取り組んで欲しい。 ・自主防災組織育成は進んでいない。
			総合防災体制の整備	81.3	地域防災計画を基に総合防災体制の明確化を早急に図られたい。	
			広域防災体制の充実	81.3	これまでの計画を推進し、人材の育成に努められたい。	
防災拠点としての庁舎及び公共施設の機能調査	概ね順調	政策推進を図るうえで、調査結果に基づく早期の整備が求められる。	庁舎建設に向けた調査検討	81.3	整備促進を図られたい。	
			公共施設の耐震調査と整備	75.0	早急な整備を図られたい。	

第9項 防犯・交通安全の推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
生活安全に向けた体制整備	概ね順調	生活安全条例に基づく継続的な取り組みが求められる。	関係機関との連携、強化	87.5	施策としては概ね適切であり、より一層の機能強化を図られたい。	
			地域ぐるみの防犯体制づくり	87.5	地域性を生かした更なる取り組みを推進されたい。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
防犯活動の推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、防犯活動に係わる町内での活動の全体像を把握し町民の意識高揚を期待できる事業展開が必要である。今後とも継続的な取り組みが求められる。	防犯意識の高揚	81.3	実際に身近であった事例を把握し住民に情報提供や、高齢者に対する対応方法等の啓発活動を積極的に取り組まれたい。	・住民全体の意識高揚に向けた事務事業の設定が必要である。
			防犯設備の整備促進	87.5	施策の有効性を高めるためにも、維持管理体制のあり方を検討されたい。	
交通安全活動の推進	概ね順調	政策推進を図るうえで、さらなる安全性の確保に向け住民が理解しやすい事業を展開されたい。今後とも継続的な取り組みが求められる。	関係機関との連携、強化	93.8	指導部の再建は評価でき、なお一層の安協の組織力強化に取り組まれたい。	
			交通安全教育の推進	87.5	関係機関、団体との連携を図り、実践的、具体的に対象となっている児童や住民の方に理解してもらえよう、一層の事業展開を図られたい。	
			交通安全施設の整備促進	81.3	積極的な取り組みを図られたい。	

第10項 消防・救急体制の強化

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
消防体制の充実	概ね順調	構成する施策は有効性を確保しているが、消防団再編、自主防災組織との連携強化を図り課題解決に有効な事業を継続すべきである。	火災予防の推進	87.5	各事務事業を通して施策実現に向けた取り組みを一層強化されたい。	
			消防、防火施設の整備	87.5	消防力整備計画に基づき、諸状況を勘案して継続的に進められたい。	
			消防活動の充実	81.3	施策実現に向け、継続的に取り組まれたい。	
			消防団の再編と自主防災組織との連携	81.3	消防団の再編への継続的な取り組みと併せて、自主防災組織との一層の連携強化を図られたい。	
救急体制の強化	概ね順調	政策推進を図るうえで、今後とも継続的な取り組みが求められる。	応急活動の推進	87.5	施策としては概ね適切であり、より一層の展開を図られたい。	
			メディカルコントロール体制の強化	87.5	施策に対する事務事業の充実を図られたい。	
消防、救急体制の広域連携等の調査研究	概ね順調	各自治体の取り組みの課程であるが更なる進度の加速が望まれる。	広域連携等の調査、研究	81.3	東置賜2市2町の枠組みにより、具体化に向けた取り組みを図られたい。	

第3節 住み良い環境を創り次世代につなげるまちをつくる

第1項 計画的な土地利用の推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
歴史や文化など地域資源を活用した中心市街地づくりの推進	課題あり	政策実現するための施策の動きが見えなく、政策を支える体系的な施策であるのか再検討必要。又、具体的事務事業も再考必要。	町民と行政の協働による街づくり推進体制の構築	81.3	小松地区センター運営に対する指導助言強化を図るとともに、諏訪峠保存事業に関する事務事業の検討が必要。	
			街づくりデザインの確立	56.3	内容を明確にし、デザインを構築していく必要がある。	・他市町村での視察（慰安旅行でなく）が必要
			中心市街地の賑わいづくりの支援	68.8	TMO構想事業の推進で中心街の空洞化防止を図りにぎわいのあるものにしていく必要があり、参加事業者の創意工夫が求められる。	・他市町村での視察（慰安旅行でなく）が必要
			羽前小松駅の多角的利活用の推進	75.0	新運営組織の活動には小松地区地域づくりとともに具体的な事業展開と、さらなる町民参画を期待したい。	
			都市計画の見直し	68.8	国・県の動向に注視しながら公共交通網の変化に合わせて、全町的な視点で再構築すべきである。	
ダリヤ園、内山沢一帯の土地利用の構築	課題あり	政策と施策を交換した方が理解できる。（事務事業は評価したい。）	ふれあいの丘の整備	75.0	ふれあいの丘の充実には、ダリヤ園を中心として施設の機能を明確にしながら事務事業を進めていくとともに、さくらの名所づくりについては見守隊だけでなく町民への広がりが必要である。	
			協働の杜の創造	68.8	町民との協働による植栽後の管理体制を確立するとともに、置賜公園と一体となった事業展開が必要である。	
下小松古墳群周辺の土地利用の構築	課題あり	政策と施策を交換した方が理解できる。	古墳、里山、山野草(植生)を活かした憩いと学習の丘の整備	81.3	下小松古墳群の環境整備を充実させ、地区住民や学校及びボランティアが連携して推進していく必要がある。	
公立置賜総合病院周辺の土地利用の構築	課題あり	国・県・町の姿勢と地区計画との整合性を早急に図るべきである。	広域的視点に立った土地利用の推進	68.8	大塚地区住民と計画策定等の協議を継続し、連携・調整を図りながら進めてほしい。	
			医療、住宅、商業が融合したまちづくりの推進	56.3	土地利用計画は行政・地域が連携し、関係機関との意見交換、連絡調整を踏まえて早急に策定することが課題である。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
町内各地区の特性を生かした土地利用の推進	課題あり	政策推進を図るため、方策の明確化に向けた具体的事務事業の設定が必要である。	地域資源の発掘と地域デザインの確立	68.8	地域の特色、地域資源の活用で住民主体で地域づくりを推進されたい。	
			相互連携による土地利用の推進	62.5	上記施策の地域デザインともリンクするので各地域の検討が重要であるが、施策の内容が抽象的で理解できない	
土地利用の適正管理と地籍調査の推進	概ね順調	更なる前進を期待する。	川西町国土利用計画に基づく土地利用の適正な管理運営	81.3	今後も法に基づいた適正な管理及び執行すべきであるとともに、町民、事業者等に対する相談やガイダンスを充実していく必要がある。	
			地籍調査の推進	75.0	今後一層の進展に期待する。	

第2項 交通基盤の整備

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
道路交通基盤の整備とネットワーク化の促進	概ね順調	道路整備推進には国や県への要望の取組や働きかけが必要である。	幹線ネットワークとしての縦軸と横軸の整備促進	81.3	今後の進展に向けて国・県等への働きかけや要望等、尚一層の取り組みが必要である。	
			幹線の結節による広域ネットワーク化	81.3	今後の進展に向けて国・県等への働きかけや要望等、尚一層の取り組みが必要である。	
生活道路等の整備促進	概ね順調	より一層の継続的な取組が必要である。	町内道路の整備	81.3	今後共、計画的な道路整備を推進していく必要がある。	
			安全施設の整備促進	81.3	今後も危険箇所チェックし、地区からの要望等を受けながら適正な整備を進めていく必要がある。	
			維持管理体制の構築	75.0	住民参加が自発的に行われるよう、具体的施策と事務事業の検討が必要である。	

第3項 生活交通の確保

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
町民の視点に立った生活交通システムの構築	概ね順調	政策推進を図るため、町民の声を聞き施策実現の進展を図ることが必要。	デマンド型乗合交通システムの構築	93.8	利用者の声を聞き、一層の進展を期待したい。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
鉄道の利用拡大の促進	概ね順調	関係機関や沿線自治体との連携で政策推進の施策内容の検討が必要。	米坂線及びフラワー長井線の利用拡大	68.8	沿線自治体との連携で利用拡大の取り組みを検討が必要である。	
			フラワー長井線を支える仕組みづくり支援	68.8	フラワー長井線では、いろいろなイベントを計画実施しているが、町民の利用拡大にはもう一步前進した事務事業の工夫が必要である。	

第4項 高度情報基盤の整備

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
高度情報化に向けた環境整備と人づくりの推進	概ね順調	技術革新が進んでおり、計画策定とともに整備の促進を図る必要がある。	地域情報基盤の整備促進	81.3	情報基盤整備後は、適正な維持管理が大切であるとともに加入促進を進めていく必要がある。	
高度情報基盤を活用した地域情報の受発信と多面的な活用の推進	概ね順調	地域情報の受発信で利便性向上や活用の推進に具体的、複合的な事務事業の設定が必要である。	情報ネットワークの形成	75.0	情報受発信のネットワーク拡大と運用上の利便性向上のための具体的な取り組みが必要である。	
			ネットワークの加入促進と相互利活用の推進	75.0	PC教室の開催、アプリケーションの構築、ネットワークの拡大と、有用性をPRし尚一層の加入率の向上に取り組む必要がある。	

第5項 生活環境の整備

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
生活排水対策の推進	概ね順調	環境汚染や美化を考慮しながら尚一層の取組展開をしてほしい。	公共下水道の計画的な整備	87.5	今後も財政状況等を勘案し、計画的に事業を推進すべきである。	
			合併処理浄化槽の設置促進	81.3	生活排水による環境汚染防止の面においても設置促進の啓蒙と、市町村設置型についても調査研究を進める必要がある。	
			公共下水道、農業集落排水施設の利用促進	81.3	未接続世帯の計画的な加入の促進を図るべきである。	
			河川、水路の美化、浄化活動の促進	81.3	河川美化に対する意識啓蒙と、浄化活動に向けた取り組み継続するべきである。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
安定した水道の供給	概ね順調	水道事業の広域化で関係市町との連携のもと安全で安定安心な水の供給を取り組んでほしい。	水道施設の計画的な整備と維持管理の推進	81.3	安全安心な水の供給の為、継続的に事業を推進してほしい。	
			水道業務の広域化、共同化の調査、研究	81.3	広域化は必要として、水道事業の更なる調査、研究を推進してほしい。	
住環境の整備	課題あり	地域住宅計画・都市計画の策定を急ぐとともに事務事業を適正に実施すべきである。	地域住宅計画の策定	68.8	早急に地域住宅計画が必要。	
			潤いのある市街地形成の検討	56.3	市街地全体の計画策定が必要。	
克雪及び利雪の推進	概ね順調	雪対策や雪の有効利用の一層の取組を検討してほしい。	除雪、排雪体制の構築と防雪、融雪対策の促進	87.5	安全な通行を確保した上で、計画的な除雪の執行を期待する。	・歩道除雪・交差点除雪の体制検討してほしい。
			雪の有効利用	75.0	ブラザ雪冷房システムが成果をあげており、雪のエコスノードームの継続的な取り組みを期待しながら新エネルギー活用も検討されたい。	

第6項 環境の保全

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
地球環境の保全	概ね順調	地球環境問題に地域住民が更なる関心をもって政策推進していく必要がある。	省資源、省エネルギーの推進	75.0	一般家庭でももっと地球環境問題に対する関心を喚起するよう、更なるPRを行うべきである。	
			環境マネジメントシステムの推進	75.0	常に手段や対象を見直し、継続的改善を図るとともに、ISOに頼らない町独自のシステムづくりの検討が必要である。	
環境教育の推進	概ね順調	もっと住民を巻き込んだ環境教育の実践活動を推進すべき。	環境教育の推進	75.0	全町民にもっと環境の大切さを周知するべきであって、手段、方法を検討することが急務である。	
			団体、人材の育成	75.0	環境に対する意識を広げ、情報の共有をしながら団体や人材の育成の構築が必要である。	
良好な環境保全と次世代への継承	概ね順調	環境保全について更なる事務事業を推進してほしい。	ごみの減量化の推進	81.3	ゴミの減量化は生活環境の保全や環境問題にはかせなくもっとゴミ分別やリサイクルに啓蒙が必要であるとともに、事業系廃棄物の増加が課題となっているので原因分析と対応策が必要である。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
新エネルギーの調査 研究と利活用の推進	概ね順調	雪以外の新エネルギーの具体的事務 事業の検討が必要である。	豊かな自然環境の保 全	81.3	町民と行政が共通の認識を持ち、事業 を推進すべきである。	
			快適な生活環境の創 造	81.3	水質調査や排水対策は経過観察や現状 を把握が大切で生活環境保全改善に一層 努めてほしい。	
			自然エネルギーの利 活用	81.3	新エネルギーとしての太陽光発電等自 然エネルギーに対する今後の普及、啓発 に期待したい。	
			リサイクルエネ ルギーの利活用	75.0	具体的事務事業の検討及び調整が必要 である。	
			クリーンエネ ルギーの利活用	62.5	具体的事務事業の検討及び調整が必要 である。	

第4節 人と地域が共にかがやくまちをつくる

第1項 ダリヤのまちづくりの推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
ダリヤ（花）を育み、町を愛でるまちづくりの推進	概ね順調	政策に対する十分な住民理解が得られるような具体的な事業展開が求められる。	（仮）花づくり銀行の創設	81.3	町民の理解がまだ不十分と思われるため、講習会の開催や情報提供の充実を図りたい。	・町民へのPRが不足している。
			花いっぱい運動の推進	81.3	施策としては概ね適切であるが、学校、保育所、町内企業、団体等と連携し、さらに町民参加が得られるよう取り組まれたい。	・新たな世代など、たくさんの町民が関わられるよう取り組みを広げてほしい。毎年同じ内容になりがちではないか。
			ダリヤロードの構築	75.0	ダリヤロードマップを作成し、構築へ向けた具体策を講じられたい。	・町民への理解が不十分である。 ・一人でも多くの町民に参加を促すべきである。
			花による景観づくりの推進	75.0	構成する事務事業を再検討し、実効性のある施策を講じられたい。	・一世帯一輪運動的な事業はどうか。
さくらの丘づくりの推進	課題あり	管理体制を確立させるための具体策に早急に取り組むことが求められる。	「協働の杜」の創造	68.8	町民がダリヤ園、内山沢一帯に足を運びやすい協働の杜づくりに向け、具体策を講じられたい。	・町民の関心を高める施策が必要である。 ・町民が足を運びにくい場所ではないか。
			地区ごとのさくらの名所、丘づくりの推進	68.8	地区ごとの利用及び管理体制の確立を図られたい。	・町民の認知度は低いと思われる。

第2項 文化まちづくりの推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別評価
川西文化の次世代への継承	課題あり	政策を推進するうえで進捗状況が見えない。事務事業の再構築等、早急な取り組みが求められる。	歴史的、自然的文化財の調査、保護及び学習プログラムの提	68.8	事務事業の設定が不十分であり、また、進捗が遅れている状況と思われる。事務事業の再構築を図られたい。	・小松小教諭への古墳群の指導を、連携をとり実施時期等配慮願いたい。 ・学習の際、説明するボランティア等がいればさらに深い学習になると感じられる。
			地域文化の継承と活用	75.0	事務事業の設定が不十分であり、また、進捗が遅れている状況と思われる。事務事業の再構築を図られたい。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別評価
			下小松古墳群を核とする憩いと学習の丘の整備	75.0	施策を構成する事務事業が不十分である。再構築を検討されたい。	・置賜の古墳としての位置づけを明確化することが大切ではないか。 ・せっかくある財産なのだから大いに活用してほしい。知らない人も多いので、各所にポスター掲示やインターネット等でPRをすべきである。昨年訪れた際、近隣住民に盗人扱いされた。周辺住民への声掛けや意識付けにも取り組まされたい。 ・物語が必要である（例：下小松山の白い山つつじの下に宝物が眠っている昔話）。
芸術文化の発信と川西文化の創造	概ね順調	政策推進のため、各拠点のさらなる有効活用と団体・人材育成の継続的な取組みが求められる。拠点施設の有効活用に関しても積極的な提言の必要がある。	人材、団体の育成支援	81.3	施策としては概ね適切であり、支援体制の一層の充実を図られたい。	
			活動の場、発表機会の創出	81.3	施策としては概ね適切であり、支援体制の一層の充実を図られたい。	
			フレンドリープラザの充実	81.3	施策としては概ね適切であり、今後の進展を期待したい。	
			遅筆堂文庫の充実と利活用の推進	81.3	施策としては概ね適切であり、今後の進展を期待したい。	
			町立図書館の充実	81.3	施策としては概ね適切であり、今後の進展を期待したい。	

第3項 地域分権社会の推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域コミュニティの再構築	概ね順調	今後とも地域への支援に対し、継続的かつ積極的な取組みが求められる。	地域自治再構築への支援	81.3	町職員の地域への貢献は顕著であるが、より一層の取組みが求められる。	
地域づくりの推進	概ね順調	政策推進を図るため、町民の理解の向上、実効的な支援制度を実施し、継続した取組が求められる。	地区ごとのまちづくり計画（地区計画）の策定促進	81.3	役割分担はある程度明確化されたが、今後とも継続した取組と十分な支援策を展開されたい。	
			地域自立支援制度の確立・導入	81.3	役割分担はある程度明確化されたが、今後とも継続した取組と十分な支援策を展開されたい。	
			地域づくりの核となる「人づくり」や地域実践活動の支援	81.3	役割分担はある程度明確化されたが、今後とも継続した取組と十分な支援策を展開されたい。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域の宝を生かす活動の推進	課題あり	今後とも継続的な取組みが求められるが、施策としては適合性、効率性に課題があるため、全体計画を作成し、事務事業を再構築するべきである。	地域（人、物、歴史）を知る学習活動の促進	75.0	施策を構成する事務事業が不十分である。具体的な事務事業を検討されたい。	
			宝を磨くプログラムの実施	68.8	施策を構成する事務事業が不十分である。具体的な事務事業を再構築されたい。	

第4項 交流の拡大

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
交流基盤の構築	課題あり	施策の実効性を高めるため、具体的取組みをより一層進展させる必要がある。	交流拠点の機能充実	81.3	具体的な事業として施設整備的な事業は展開されたが、機能の充実に向けた事務事業の設定を図られたい。	
			交流資源の充実、ネットワーク化	81.3	施策として概ね適切であり、今後さらなる充実を図られたい。	
			情報提供システムの構築	81.3	施策として概ね適切であり、今後さらなる充実を図られたい。	
地域間交流、国際交流の推進	概ね順調	民間レベルでの交流事業を含めた現況を精査し、交流の主体・メニュー・対象の全体像を明確にし政策推進を図られたい。	各種交流事業の促進	81.3	施策を構成する事務事業が不十分である。全体像を明確にし再構築を図られたい。	
			自治体間、民間の交流連携の推進	81.3	施策を構成する事務事業が不十分である。事務事業の設定について見直しを図られたい。	
			国際交流の推進	81.3	施策として概ね適切であり、継続した支援策を講じられたい。	
交流人材の育成と川西ファンの拡大	課題あり	構成施策の有効性を担保する事務事業の設定が必要である。	交流人材の育成	68.8	交流人材の実情を把握し、人材バンクの再構築、育成に向けた事務事業の設定を図られたい。	
			川西ファンの拡大	75.0	ファン拡大に向けた具体的事務事業の再構築を図られたい。	

第5項 教育環境の整備・充実

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
教育内容の充実	概ね順調	政策推進を図るため、「地域の特色」「新たな社会」などの文言の意義を反映した合目的性の認められる事業展開を図られたい。	地域の特色を活かした教育の推進	81.3	施策として概ね適切であり、今後一層の地域性を活かした取り組みの展開を図られたい。	
			新たな社会に対応した学習体制の充実	81.3	施策として概ね適切であり、今後さらなる充実を図られたい。	
			教職員研修、指導体制の充実	81.3	施策として概ね適切であり、今後さらなる事務事業の推進を図られたい。	
教育環境の充実	概ね順調	学区再編による教育環境の変化を精査し、併せて長期的な施設整備も勘案した総合的な政策推進を図られたい。	学習効果を勘案した学区の再編	81.3	施策としては概ね適切であるが、小学校の方向性について明確にしていく必要がある。	・中学校統合は妥当であると考え
			学校給食の効率的、効果的運営	81.3	安心、安全を確保するため、継続的な取り組みを図られたい。	
			施設の計画的な整備	81.3	施策として概ね適切であり、今後も修繕計画に基づき継続的な対応を図られたい。	

第6項 生命の教育の推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
家庭教育力の向上	概ね順調	今後とも継続的な取り組みが求められる。	教育連携体制の構築	81.3	施策に対する事業の体系化と実施事業の再整理が必要である。	
			共育環境づくりの推進	81.3	施策に対する事業の体系化と実施事業の再整理が必要である。	
			地域子育ての意識づくりの推進	87.5	施策に対する事業の体系化と実施事業の再整理が必要である。	
こころの教育の推進	概ね順調	今後とも継続的な取り組みが求められる。	性の教育、いじめ、不登校への対応	87.5	施策としては概ね有効であるが、さらに幅広い対応を早急に検討すべきと考えられる。具体的な事務事業の設定を検討されたい。	
			生き抜く力の育成	87.5	施策としては概ね有効であるが、社会力を高める教育プログラムの推進に係る事務事業の設定を図られたい。	
			食育教育の充実	87.5	施策としては概ね有効であるが、食育に対する総合的な事務事業の設定が必要である。	

第7項 生涯学習・生涯スポーツの推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
学習推進体制の充実	課題あり	事務事業の再設定により、構成する施策の有効性を担保する必要がある。	施設機能の充実	81.3	施策としては概ね適切であるが、修繕計画による年次の整備とともに、施設機能としての中央公民館のあり方について明確化されたい。	
			情報提供の促進	68.8	施策に対する事務事業の設定が不十分である。事務事業を精査し、再構築を図られたい。	
			交流による人づくりの推進	75.0	施策に対する事務事業の設定が不十分である。成人式だけではなく支援事業を設定されたい。	
主体的な学習活動への支援	概ね順調	政策推進を図るため、学習講座のあり方や支援体制の再検討を実施し、さらに継続的な取組みが求められる。	学習講座の提供	81.3	施策としては概ね有効であるが、事務事業の見直し、再検討を図られたい。	
			地域活動への支援	81.3	施策としては概ね有効であるが、支援のあり方について今後も継続した検討が必要である。	
体力づくりの推進	概ね順調	政策推進を図るため、今後とも継続的な取組みが必要であるが、関連する事務事業との統一・整合性がみられない。明確化することが必要である。	町民一人一体力づくりの定着	81.3	施策を構成する事務事業のつながりが明確でない。事務事業を再構築されたい。	
			スポーツ機会の創出	81.3	スポーツ機会の創出に向けた取組みを一層強化されたい。	
競技力の向上	概ね順調	政策推進を図るため、今後とも継続的な取組みが求められる。	指導体制の充実	81.3	施策としては概ね適切であるが、指導者育成プログラム設定等の事務事業の再構築を図られたい。	
			ホッケー競技の振興	81.3	施策としては概ね適切であるが、競技人口の拡大に向けた事務事業の再構築を図られたい。	
スポーツ環境の充実	概ね順調	利用者の利便性・安全性が最優先であり、体系的な維持管理計画の提示、継続的な取組みが必要である。	施設管理、運営体制の充実	87.5	施策として概ね適切であり、今後も継続的な運用を期待したい。	
			施設の整備、充実	81.3	施策としては概ね適切であるが、維持管理方針を明確化しておく必要がある。	

第8項 男女共同参画社会の推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
社会参加機会の拡大	概ね順調	男女共同参画の意義を再認識し、さらなる政策推進を図られたい。	女性の活躍の場の創出	81.3	施策としては効率性に課題があり、構成する事務事業の再構築を図られたい。	
			政策、方針決定への男女共同参画の推進	75.0	施策としては効率性に課題があり、構成する事務事業の再構築を図られたい。	
働くための環境整備	課題あり	女性の社会進出に向けた環境整備が整っていない状況であり、有効な事務事業の構築が必要である。	安心して子育てできる環境の整備	81.3	施策としては概ね適切であるが、一層の環境の向上のための施設整備を急ぐべきである。	
			女性の能力が発揮しやすい環境の整備	75.0	施策の実効性を早急に確保する必要がある。事務事業の再構築を図られたい。	
意識啓発及び推進体制の確立	概ね順調	男女共同参画の意義を再認識し、さらに実効性の高い施策を検討する必要がある。	男女共同参画意識の醸成	81.3	女性の登用率をアップさせる事業等、男女共同参画の有効性を担保できる事務事業の再構築を図られたい。	
			男女共同参画社会実現のための推進体制の確立	81.3	女性の登用率をアップさせる事業等、男女共同参画の有効性を担保できる事務事業の再構築を図られたい。	

第9項 自主・自律のまちづくりの推進

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
協働のまちづくりの推進	概ね順調	構成する施策は概ね有効であるが、さらなる推進を図る必要がある。	川西町まちづくり基本条例の啓蒙	75.0	施策としては概ね適切であるが、本条例がまちづくりの根幹であることから、町民に対する普及、周知活動を強化されたい。	
			情報の共有化、広報・広聴活動の推進	81.3	まちづくりを進める基盤となる施策であることから、今後一層の情報の共有化を図られたい。	
			NPO、ボランティア団体等の育成支援	75.0	構成する事務事業に計画性がない。見直し、再構築が必要である。	

政 策 名	評価結果	評価の理由	施 策 名	評価点数	評価の理由	個別意見
行政経営システムの確立（役場改革）	概ね順調	本政策の意義は浸透しつつあるが、今後も常に点検評価を繰り返しながら、改善姿勢を持って取り組む必要がある。	川西町集中改革プランの実施	81.3	課によって取組み状況にバラつきが感じられる。役場改革のため底上げを図り、精度を高められたい。	
			行政評価システムの導入	81.3	確実に前進している。有効性を高めるためさらなる取組みの強化が求められる。	
			環境マネジメントシステムの推進	81.3	施策として概ね適切であり、行政評価システムを高めるためにより一層活用していくことが求められる。	
			職員の資質向上	81.3	施策として概ね適切であり、研修等を通して全体のスキルアップを図ることが望まれる。	
広域連携の推進	概ね順調	町民に及ぶ利益・不利益を十分に勘案しながら情報収集、調査研究を進められたい。	行政サービスの広域化と広域処理	81.3	現状を把握し、新たな展開を想定しながら情報収集、調査研究について継続して取り組まれたい。	
			市町村合併に関する調査、研究	81.3	現状を把握し、新たな展開を想定しながら情報収集、調査研究について継続して取り組まれたい。	